

令和 6 年度

那須町総合教育会議臨時会 会議録

那須町教育委員会

令和 6 年度 那須町総合教育会議臨時会会議録

令和 6 年 10 月 1 日 15 時 30 分から、令和 6 年度那須町総合教育会議臨時会が開催され、その結果は次のとおりであります。

1 本会議の出席者は次のとおりであります。

町長部局

町長	平山 幸宏
----	-------

総務課長	池沢 秀勝
------	-------

教育委員会

教育長	平久井好一
-----	-------

教育委員	菊地 厚子
------	-------

教育委員	大森源一郎
------	-------

教育委員	菊地 昭一
------	-------

教育委員	金田裕美子
------	-------

社会教育委員	渡邊 明彦
--------	-------

社会教育委員	鹿野美津江
--------	-------

社会教育委員	白井 大助
--------	-------

社会教育委員	鈴木 一
--------	------

学校教育課長	島村 育男
--------	-------

生涯学習課長	人見 英樹
--------	-------

こども未来課長	渡邊 誠
---------	------

学校教育課長補佐	赤羽根初美
----------	-------

生涯学習課社会教育主事	高久 修
-------------	------

生涯学習課主査	益子 恵
---------	------

1 本会議の議事は次のとおりであります。

協議事項

(1) 新しい時代の地域コミュニティづくりについて

(2) その他

1 開 会

島村学校教育課長

定刻となりましたので、ただ今より令和6年度那須町総合教育会議臨時会を開催いたします。会議の終了時刻は17時といたしますので、ご協力をお願いいたします。

はじめに、平山町長よりご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ（平山町長）

皆さん、こんにちは。

はじめに、9月29日に町制施行70周年の記念セレモニーと第19回の九尾祭りを非常に大盛況のうちに開催することができました。12600人の多くの方に参加いただきました。昨年ですと、暑かったりして、途中で帰られる方がおりましたが、今回は最初から最後まで多くの方にご出席とご参加をいただきました。子どもたちも出店での買い物や、各出展ブースを歩いたりしたことが印象に残り、来年も楽しみにしている子どもたちが多くいたことも報告させていただきます。

教育委員の皆さま、社会教育委員の皆さまには、日頃から、本町の教育行政の推進にご尽力を賜り感謝を申し上げます。

また、本日は、那須町総合教育会議臨時会を開催したところ、ご多用にもかかわらず、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

さて、今年度も早いもので下半期に入りました。これまでの半年間、本町の子どもたちの健やかな学びを支えるために保護者や地域の方々など、たくさんの皆さまにご協力とご尽力をいただき、滞りなく教育振興ができておりますことに心から感謝を申し上げます。

10月は収穫の時期でもあります。現在、お米の品薄状態が続いており、私たちの生活へも不安視されてきております。この要因としましては、気候変動や自然災害、農業の衰退などとされておりますが、学校給食のお米の納入価格も高騰してきており、献立の変更などの対策も検討する必要性が生じております。

教育におきましても、上半期の取り組みの中で見えてきた課題から具体的な施策を講じ、次年度に向けた準備を進め、さらに、子どもたちが心身ともに健やかに成長できる教育環境を整えて参りたいと思います。

本日は、社会教育委員の皆さまにもご出席いただきまして、新しい時代の地域コミュニティづくりについて意見交換を行います。

本日は、忌憚のない意見交換を行いながら、町長部局と教育委員会が共通の認識をもって、那須町の教育の充実に向けて取り組んでいければと思っております。

どうぞ、本日の会議が実りあるものとなりますよう、よろしくお願いいたします。

島村学校教育課長

それでは、協議事項に移らせていただきます。

那須町総合教育会議設置要綱第4条第1項により、町長を議長として進めさせていただきます。

3 会議録の承認

議長：平山町長

それでは、本会議を主宰する立場から議長を務めさせていただきます。

円滑な議事運営に努めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

はじめに、会議録の承認について学校教育課長より説明をお願いします。

島村学校教育課長

総合教育会議の会議録は、那須町総合教育会議設置要綱第7条において、公表することになっております。

令和6年度第1回の総合教育会議の会議録について説明させていただき、公表について承認をいただきたくお願いいたします。

～会議録に沿って説明～

議長：平山町長

ここで、5分程度、お時間を取りますので、会議録の内容についてご確認をお願いします。

～内容確認～

それでは、会議録について、ご意見やご質問などがございましたら、お願いいたします。

菊地(厚)委員

菊地が2人いて紛らわしいんですが、昭一委員さんのところにも(昭)としていただけると良いと思います。

島村学校教育課長

はい。分かりました。資料の修正をさせていただきます。

議長：平山町長

ご確認をいただきまして、ありがとうございます。

それでは、会議録について承認をいただけますか。

全出席者

承認

議長：平山町長

ありがとうございました。

4 協議事項

本日は、社会教育委員の皆さまにもご出席いただいておりますので、ここで簡単に自己紹介をお願いします。

それでは、まず私より自己紹介させていただきます。

町長の平山幸宏です。よろしくお願いいたします。

池沢総務課長

総務課長の池沢秀勝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

平久井教育長

教育長の平久井です。お世話になります。よろしくお願いいたします。

菊地(厚)委員

教育長職務代理者の菊地厚子と申します。よろしくお願いいたします。

大森委員

教育委員の大森源一郎です。よろしくお願いいたします。

菊地(昭)委員

教育委員の菊地昭一です。よろしくお願いいたします。

金田委員

教育委員の金田裕美子です。よろしくお願いいたします。

渡邊社会教育委員長

社会教育委員長の渡邊明彦です。よろしくお願いいたします。

鹿野社会教育委員

社会教育委員の鹿野美津江と申します。よろしくお願いいたします。

白井社会教育委員

社会教育委員の白井大助です。よろしくお願いします。

鈴木社会教育委員

社会教育委員の鈴木一です。よろしくお願いします。

島村学校教育課長

学校教育課長の島村と申します。どうぞよろしくお願いします。

人見生涯学習課長

生涯学習課長の人見と申します。よろしくお願いします。

渡邊こども未来課長

こども未来課長の渡邊と申します。よろしくお願いします。

赤羽根学校教育課長補佐

学校教育課長補佐の赤羽根と申します。よろしくお願いします。

高久生涯学習課社会教育主事

生涯学習課社会教育主事の高久と申します。よろしくお願いします。

益子生涯学習課主査

生涯学習課の益子と申します。どうぞよろしくお願いします。

議長：平山町長

ありがとうございました。どうぞよろしくお願いします。

それでは、(1) 新しい時代の地域コミュニティづくりについて、意見交換をさせていただきます。

始めに、生涯学習課高久社会教育主事より那須町の地域コミュニティについて、説明をしていただきます。

高久社会教育主事から説明をいただきましてから、皆さまからのご意見を頂戴したいと思います。

それでは、高久社会教育主事、どうぞよろしくお願いします。

～高久社会教育主事からの説明～

議長：平山町長

ありがとうございました。

それでは、ご意見、ご感想などがございましたら、お願いいたします。

渡邊社会教育委員長

昨年、教育委員会から諮問を受けて、地域コミュニティの在り方ということで、私自身とても身近な問題でした。自分の地域、黒田自治公民館と第5自治会は役員の担い手不足の問題があって、早急に検討しなければならないと感じました。実際に那須町の現状はどうかとアンケート調査をしたところ、同じ状況の公民館がたくさんあると感じました。ただ、黒田自治公民館と第5自治会は役員数が多く大変難しい問題となっております。検討している中で、自治公民館を抜けたところも増えており、待ったなしの状況であり、二つの縦割り組織を統一できないものかと考えております。ぜひ検討していただきたいと思います。

大森委員

社会教育委員の皆さん、大変ご苦労様でした。アンケート結果から愕然としました。

私が自治公民館長や高原公民館の副館長をしていた頃は、みんな協力してくれました。選手以外も応援して、反省会もあり、とても良かった。実は、30年前にしっかりした生涯学習を立ち上げようと検討した際に、公民館が核となり地域のコミュニティを興していこうと考えました。育成会母級学級などは自治公民館を使用していました。町の公民館を主にして、地域が盛り上がっていました。アンケート結果から疲弊している様子に胸が痛みました。

社会の変化が来たんだろうなと私は思います。あとは皆さんの意識の変化で、この体制では無理ですね。やめるところがどんどん出てくると思います。私は何が一番大事なことなのか、人と接して縁を深めて、お互いに話し合っ心を持って生きていく、これが楽しみに生きている証なんです。私も皆さんにお会いできるのは最高に嬉しくて、毎回会議を楽しみに来ております。楽しくないと集まらないし、辞めた方が楽だという考え方が広がってしまった。地域によっては、自治公民館の下部に各地区の公民館があるので、一概に統廃合するのは、難しいと思います。町の公民館がどのように各組織の自治公民館をしていくかということが、大きな課題だと思います。楽しく人が集まる公民館事業については真剣に考えるべきだと思います。公民館の構成員が少なくなっているのも維持できないところなので、行政としてどうしたら良いのか真剣に考える時期だと思います。先のことを考えるとどうしたら良いのか私も迷ってしまいます。地域によっては館長さんを含めて、しっかりと検討する必要があるのではないかと思います。

鈴木社会教育委員

昨年からアンケート調査をしていますが、芦野の寄居地区では同じ人が順番で役をやっている状況になっているのが現状です。昔は、役員を割り振っても回っていたが、現在は困難になっています。縦割りで難しいかもしれませんが、自治会の組織の中に公民館の役職を入

れて、組織のスリム化を合わせつつ公民館で年間を通して行事を行っていますが、苦勞して参加させようとしている為、窮屈にやっている感じがします。楽しくなければ人が集まってこないで、変えていけたらと思っております。

議長：平山町長

自治公民館、自治会、地区社会福祉協議会、全ての所轄課が異なるので縦割りでの事務になってしまっている部分もあるかなと思います。

他にどうですか。

菊地(昭)委員

自分たちが何とも思わずに当たり前にやってきたことが、今は通用しなくなっています。さらにコロナによりダメージを受け、気力とか心というのは一つの筋肉だから一回休むと、そこから持ち上げるのは大変です。伊王野地区では人が集まらず、お祭りもやめています。現代は一人を楽しんでいて、そういう人は参加して来ませんし、自治会も抜けていくし、人と関わり合いたくないから、苦痛に感じてしまい、コミュニティを図るのが難しい時代になったと思います。

自治会と公民館を無くそうとかマイナス的なことは考えないで、今までの体制で良いので、気持ちが切れないように、うまく操っていくのが町のやり方ではないかと思っています。

平久井教育長

毎年、生涯学習課では4公民館の役職員活動推進員合同会議を行っていますが、様々な課題があり、行事の見直しを行っているところです。しかし、もれ聞こえてくるところによりますと上川自治公民館、余笹自治公民館、田代自治公民館の現状はかなり厳しく、公民館から脱退するなどの意見も出されているとお聞きしています。「自治」のものでありますが、町として方向性は出す必要があると思います。様々な課題があっても地域コミュニティは、なくしてはいけないと思っています。

菊地(厚)委員

私は幸町に住んでいるのですが、町の中も急激にそういう状況が起こっています。公民館と自治会を一つにできないかとの話も出ています。町内の高齢者がどんどん亡くなってしまい、新年会や総会を開催できない状況が起きてきてしまっており、花壇の整理や、清掃などでしか組内の人と顔を合わせる機会がなくなっています。公民館の役員をしている人は同じで、役職を変えながら続けて下さっているのが現状なので、行政の組織は違うと思いますが、具体的な方針を示す必要があると思います。組織の一元化というか、何かを進めて行かないと、何の行事も出来なくなってしまうような事が起きてくるのではないかと思います。

白井社会教育委員

私は湯本在住ですが、湯本は自治会と公民館が一緒になっています。以前は自治会と育成会が一緒だったことで問題はありませんでした、小学校が閉校となり育成会がなくなってしまう、自治会に育成会のメンバーがいなくなっていました。自分が子どもの時、お祭りが楽しみだったので、今の子どもたちに参加して欲しいのですが、育成会がないので集めることが出来なくなっています。出来れば自治会に育成会まで入れて、若い人たちが強制的に入るようにした方が良いと思います。

鹿野社会教育委員

田代自治公民館についてですが、会員数が激減しておりまして、自治公民館の行事がほとんどなくなっているにも関わらず、公民館の掃除はあり、会費も徴収されています。そして田代公民館は借地の上に建っておりまして、借地代が年間 30 万円という額になっています。今後を考えて今いる会員と積立金で、解体する話が出ています。建物が無くなっても、スポーツの大会などに参加したい人がいるので、行事に参加できる体制というか、地域コミュニティの活動ができるということもやっていただけたらというところもあります。田代第 3 公民館大日向自治会で前期会長をしていましたが、子どもたちとお年寄りを結びつけられないかということで、子どもたち主催のイベントを開催しましたが、子どもたちに景品が出るので、子どもたちは結構来てくださったのですが、お年寄りに交流のために来てくださいと声かけしたのですが、全く繋がりませんでした。強制的に集めないと、地域コミュニティの継続は難しいと思いました。

議長：平山町長

ありがとうございます。田代自治公民館は地域にある公民館とは別な自治公民館がありまして、そこに入っている方が維持をしていくので、大変だということです。

大森委員

なぜ二つあるのですか。

議長：平山町長

田代地区はスポーツに対して、卓球大会すべての大会が優勝する位、盛り上がっていた地区でして、全てにおいて施設が必要だということで、借地を借りて作られました。今、大変な時期に来ているということです。

他にありませんか。

金田委員

皆様のご意見を伺わせていただいて、やはり人口減少に伴う担い手不足が顕著に表れてきたと感じました。新しい考え方として CCRC という政策ですが、これが未来型のコミュニテ

ィになっていくだろうと思っています。この CCRC に関しては成功事例も上がってきてますので研究させていただけたらと思います。発祥はアメリカでして、日本のようにディサービスはなく、一つのシニアコミュニティとする、それが CCRC の原点なんです。要介護以前からのコミュニティが地方創生の打開策として注目されつつあります。

那須まちづくり広場が CCRC のお手本になっています。2015 年に地方創生大臣が視察をされて、那須まちづくり広場をお手本にしたいと発言されているんです。私はそのコミュニティに入って、交流させていただいて勉強させていただいておりますが、皆さん生き生きと生活をされていらっしゃいます。

那須っ子が今一人で若者を那須町へというコンセプトで新しいコミュニティを作り始めました。個人レベルでコミュニティを立ち上げて結集されつつあるので、行政側として対話を重ねていくことで、唯一無二の CCRC が出来ると思います。

キーワードになってくるのは、地域プロデューサーという存在です。その方がコアになって、地域の課題解決を地域の方とともに作り上げていくという形です。自治会に入りたくない、入りたいという方がいらっしゃるとは思います。防災、介護、教育等、皆さん共通認識で気になる場所だと思いますので、コアな部分を CCRC のシステムを利用して全町人に示した上で SNS を通じて、出来ない人は紙ベースでと臨機応変に対応するサービスが必要なのかなと思いました。那須まちづくり広場の代表の方はじめ、住まわれている方たちは、那須町が素晴らしいということで移住されている方がほとんどです。行政の方も対話を重ねていただいたら、何かしらのヒントになるのではないかと思います。一つの考え方としてヒントになればと思って研究中でございます。

議長：平山町長

ありがとうございます。貴重なご意見で、町の方も参考にしたいと思います。

各課の課長の方からも一言お願いします。

池沢総務課長

皆さんにお知らせしたいデータがございます。那須町の自治会加入率今年の 4 月 1 日で約 56%、これは栃木県のなかでビリから 4 番目に悪い状況です。那須町は転入者が多い自治体です。地域によっては率が高いところ、低いところがあります。選挙の実例として、自治会加入率と選挙の投票率は似ており、自治会加入率が高いと選挙投票率も高いという傾向があります。自治会、自治公民館、社協はスリム化して一本化していく必要があると思います。金田さんが言われたプロデューサーという、熱い気持ちを持った人を探すのも必要なのかなと感じました。

島村学校教育課長

昨年、生涯学習課長として、地域コミュニティについて、いろいろと携わらせていただいたなかで、自治会、自治公民館、社会福祉協議会、こういう組織が若い人もいないので集ま

ろうとしても難しいなど非常に厳しい状況にあることから、自治会と一緒にあって、役員の数を減らしながらなら、継続していけるのではないかと考えておりました。コロナ明けで皆さんのテンションも下がってしまって、感染した時の責任等の意見から行事をやらなくなったことで、再開にはエネルギーが必要です。

自治公民館で活動できない所については、町が関わることで、盛り上げていければと思います。こういった組織は大切にして、行政も関わりながら継続して行きたいと考えています。

人見生涯学習課長

町には4公民館がございます。地域の方のご意見を統合すると、役員のなり手がいないことと、永続的な継続性があるものにするためにはどうしたら良いのかということで、生涯学習課としては、公民館という言葉にこだわる必要はなく、公民館的な事業、趣旨が必要なものであって、その実施方法が公民館という組織である必要はないと考えます。成沢公民館は廃止していますが、特段支障はなく、公民館的活動は成沢自治会の中で行っています。公民館という名称は存在しませんが、公民館的な活動をしているのであれば、支援の在り方としては有効ではないかと検討しております。自治公民館対抗事業の在り方についても、各4公民館の自治会、公民館長、役員の方と話し合いをしていただいて、より良い方向に持っていければと考えております。

渡邊こども未来課長

那須町の住民として、私は、芦野の横岡地区に住んでいますが、自治公民館の役員のなり手がおらず、同じ人が何期か続けて担うしかない状況で、中学生以下の子どもは4名しかおりません。ある程度スリム化して自治公民館で自治会の中にいろいろなものを組み込んでやっていくことが良いのではと思います。こども未来課としても、若い方が安心して子育てができることや、子育てしやすい町を実現していければ良いと思っています。

議長：平山町長

一通り皆さんからご意見をいただきました。ありがとうございます。

那須町は、消滅の可能性のある自治体から脱却した唯一の町です。那須町は転入超過は多いですが、現実には亡くなる方もおり、全国的に人口が減少しております。その中で転入超過ということでPRをしておりますが、常に前向きにPRする必要があると思います。以前の公民館事業は必ず子どもを連れて行き、大人も子どもも楽しく親睦を深めることが出来、特に中学生の年長の子どもは小学生の面倒を見たりして、子どもの総合的な教育にもつながっていたと思います。

那須町は、高齢化率43%を超えました。それでも元気な方の高齢者が多いのも特徴です。そういう方々に一生現役で頑張っていただき、常に楽しく動けるような町であってほしいですし、子どもたちにも夢を持って欲しいです。特に、那須町に来ていただく方を増やしていきたいと思っています。他県から転入してくる人で、那須塩原市や大田原市に転出しているのが

現状です。子どもの教育にもっと魅力を持って、那須町に残っていただきたいと思います。

それでは以上で、議題に関する協議は終了いたします。

貴重なお時間をいただき、充実した会議となりましたことに、お礼を申し上げます。

いただきましたご意見等については、今後の地域コミュニティづくりに向けて参考とさせていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは議長の任を解かせていただきます。

5 その他

島村学校教育課長

次第 4 その他に移りますが、皆様から何かございますか。

無ければ、これをもちまして協議事項はすべて終了させていただきます。

6 閉会

島村学校教育課長

閉会にあたり、教育委員を代表して平久井教育長よりご挨拶をいただきます。

平久井教育長

本日は、皆さまお集まりいただきまして、大変なご議論をいただいたと思います。

コミュニティの崩壊が進んでいるということは、社会教育委員の皆さんが今まで一年半かけて調査研究し、在り方について議論してきて、共通理解をし、このままにしておいてはいけないと思い、今回総合教育会議臨時会を臨ませていただいたわけですが、教育委員の皆さんにもご理解いただけたかなと思います。地域コミュニティはいらないのではなく、介護、防災、教育これに関しては必要だと思います。

先ほど町長からありました、大人が仲良く楽しく活動していることが、次世代へつなぐ大切なものであると思います。

自治公民館、自治会、社会福祉協議会、3 者があり方について共有しながらできれば、良いあり方になるのではと思います。成沢自治会は上手くやっているようなので、参考にして、モデル地区などをやってもらい広げていければ良いと思います。ある程度、行政の方でリーダーシップをとる必要があると考えます。

本日は、初めての試みで社会教育委員さんも入っていただいて、ご議論していただきました。3 月末に答申を教育委員へ行いたいと思います。

本日は大変お忙しい中ありがとうございました。

島村学校教育課長

以上で令和 6 年度那須町総合教育会議臨時会を閉会といたします。

本日はありがとうございました。